

職員会議（5月19日（木）） 校長より

◎「ありがとう」と言える・言ってもらえる生徒・教職員・学校！

◎ 県高校体育大会いわき地区大会・・・「いわき湯本高校」という「新しい風」が吹きました！

・「一人一人の頑張り」が「学校づくり」につながります！（「学校づくり」は「自分づくり」というプロジェクト！）

・「本校舎」の生徒と「遠野校舎」の生徒がともにがんばった！

<優勝>

陸上（女子3000メートル、女子2000メートル障害、女子やり投げ）、
剣道（女子団体、女子個人）

<準優勝>

陸上（女子1500メートル）、サッカー、ソフトボール、卓球（男子）

<3位>

陸上（男子ハンマー投げ、女子800メートル、女子1500メートル、
女子ハンマー投げ）、バレーボール（男子）、ソフトテニス（男子団体）、
テニス（男子団体、女子団体、男子ダブルス）、剣道（男子団体、女子個人）、
バドミントン（男子ダブルス）、弓道（女子個人）、卓球（男子ダブルス）

※これらの他にも、県大会出場権を獲得した部・個人があります

1 4月下旬から5月上旬のGWの後、

改めて指導・支援し、確認・点検をしながら、

学習指導、進路指導、生徒指導は丁寧に・粘り強く、生徒観察はきめ細かに

（SOSを見逃さない）！・・・ありがとうございます！

○PTA・教育後援会役員会・総会（書面審査）、生徒会総会

○登校指導、面接週間、携帯電話教室、JASSO説明会

○内科検診、尿検査、心電図検査・結核検診

○土曜課外

○Iwaki たっぷりハヤシライス（家庭クラブ、見事なプレゼンでした）、春季
高校野球いわき支部大会（校旗掲揚・校歌演奏2回、胸が熱くなりました）、
サッカー部Fリーグ（白星を2つ重ねました）、いわき市吹奏楽フラワーコ
ンサート、ALOHA nui Iwaki（フラダンス部）、各種大会、練習試合
・・・ありがとうございます！

※部・委員会活動、学校行事などを学校HPに掲載し、いわき湯高生の頑張りを発信していきましょう！

※引き続き、期首面談よろしくお願ひします。

2 これから1か月は、「鳥の目」、「虫の目」、「魚の目」で！

※今の時期は、1学期の折り返し地点です。一人一人の生徒が、1学期をどの
ように折り返し、1学期をどのようにまとめ、夏休みにどのようにつなげ、
夏休みをどのように過ごし、2学期をどのように迎えるべきか？

※高いところから・広く（鳥の目）、足もとから・きめ細かに（虫の目）、流れ
を見ながら・タイミングよく（魚の目）、生徒一人一人の指導・支援をして
いきましょう！

※これから夏休みまで、地区大会→中間考査→県大会→期末考査というように、
生徒は切り替えをしっかりとっていく必要があります。

※メリハリのある指導・支援で、「高校生になる（1年）」「中だるみを吹っ飛
ばす（2年）」「学力向上・進路実現（3年）」など、学年ごとの課題に対応
していくようにしましょう！

※「二兎を追う者だけが二兎を得る」（両立、バランス）と「二兎を追う者は
一兎をも得ず」（リスク・マネジメント、タイムリーなサポート）

○「勉強に力を入れたい、部活動がんばりたい、そんな自分の得意を伸ばせ
ます！」

・「勉強」と「部活動・委員会活動」の両立、「授業」も「学校行事」も一生
懸命に

○「いわき湯本高校は大学進学から就職まであらゆる生徒の進路の実現を目
指します」

- ・「学力向上」と「進路意識（目標）」は進路実現の両輪、「生徒指導なくして学習指導なし」「学習指導なくして生徒指導なし」

○感染症対策の徹底と教育活動の保障の両立

- ・「感染症対策」は地道に、「学び」は止めない

○コロナ禍における学校行事の「いわき湯本モデル」づくり→公開文化祭、球技大会、全校応援、全校集会など

- ・“新しい生活様式”を踏まえた学校の対応レベル1・2・3に応じた実施可能な企画内容や感染症対策などを検討

○「2つの高校」の伝統を「いわき湯本高校」へ引き継ぐ

- ・県教委「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」（R3年度は遠野高校、R4年度はいわき湯本高校が指定）
- ・県教委「統合校魅力化発信事業」（R4年度はいわき湯本高校が指定）
- ・生徒会など（本校舎・遠野校舎生徒会との交流など）

○「いわき湯本ならではの」の教育と「地域に愛される学校」

- ・「体験入学」、「特色選抜」のなかみ（自分の得意が伸ばせる学校）
- ・アカデミックコースとスペシャリストコースのなかみ
- ・「保健・医療コース（教育プログラム）」のなかみ
- ・地域を学びのフィールドとする「探究学習」のなかみ

※地域がいわき湯本高校に期待することは何か？（校長による常磐・遠野・田人地区中学校訪問）

3 教師の中核の仕事は授業（3つの問い（目標・指導・評価の一体化））

○1つめの問い：授業の目標は何ですか？（育成したい資質・能力は何ですか？）

- ・学習指導要領が示す3つの資質・能力
 - 「知識・技能」「思考・判断・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」
- ・本校で育成したい3つの資質・能力
 - 校訓「自立」「友愛」「創造」

○2つめの問い：そのために、どのように指導しますか？

- ・手立て（授業展開、発問、資料、ワークシート、ICTの活用など）

○3つめの問い：授業の目標はどの程度達成できましたか？

- ・学習の評価、学習のための評価、学習としての評価
- ・観点別評価（「知識・技能」「思考・判断・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」）
- ・育成したい生徒像、育成したい資質・能力の評価指標（ルーブリック）
- ・スクールミッション（県教委）を踏まえた「スクールポリシー」

※観点別評価や一人一台端末を含むICTを活用した学びについては、生徒・保護者に丁寧に説明（5月20日（金）1学年対象の科目選択、5月27日（金）1学年保護者会、保護者宛文書）

4 その他

○18歳成人年齢引き下げと生徒指導・進路指導

○公立中学校における休日の運動部活動を地域に移行する動き